

表11-2 性・勤務形態別にみた性格傾向の回答分布

1) 完璧主義すぎる		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	12 7.1%	72 42.6%	73 43.2%	12 7.1%	169 100.0%
	勤務医 度数 %	62 8.3%	315 42.2%	310 41.6%	59 7.9%	746 100.0%
	合計 度数 %	74 8.1%	387 42.3%	383 41.9%	71 7.8%	915 100.0%
女	開業 度数 %	8 13.1%	17 27.9%	30 49.2%	6 9.8%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	7 3.8%	77 41.6%	76 41.1%	25 13.5%	185 100.0%
	合計 度数 %	15 6.1%	94 38.2%	106 43.1%	31 12.6%	246 100.0%
2) まじめすぎる		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	11 6.5%	91 53.8%	58 34.3%	9 5.3%	169 100.0%
	勤務医 度数 %	85 11.4%	410 55.0%	232 31.1%	19 2.5%	746 100.0%
	合計 度数 %	96 10.5%	501 54.8%	290 31.7%	28 3.1%	915 100.0%
女	開業 度数 %	8 13.1%	37 60.7%	15 24.6%	1 1.6%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	14 7.6%	86 46.7%	70 38.0%	14 7.6%	184 100.0%
	合計 度数 %	22 9.0%	123 50.2%	85 34.7%	15 6.1%	245 100.0%
3) 非常に心配性		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	19 11.2%	70 41.4%	72 42.6%	8 4.7%	169 100.0%
	勤務医 度数 %	70 9.4%	333 44.7%	290 38.9%	52 7.0%	745 100.0%
	合計 度数 %	89 9.7%	403 44.1%	362 39.6%	60 6.6%	914 100.0%
女	開業 度数 %	7 11.5%	18 29.5%	29 47.5%	7 11.5%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	9 4.9%	66 35.7%	86 46.5%	24 13.0%	185 100.0%
	合計 度数 %	16 6.5%	84 34.1%	115 46.7%	31 12.6%	246 100.0%
4) 内向的		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	12 7.1%	60 35.5%	78 46.2%	19 11.2%	169 100.0%
	勤務医 度数 %	58 7.8%	303 40.7%	294 39.5%	90 12.1%	745 100.0%
	合計 度数 %	70 7.7%	363 39.7%	372 40.7%	109 11.9%	914 100.0%
女	開業 度数 %	7 11.5%	15 24.6%	29 47.5%	10 16.4%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	9 4.9%	56 30.4%	82 44.6%	37 20.1%	184 100.0%
	合計 度数 %	16 6.5%	71 29.0%	111 45.3%	47 19.2%	245 100.0%
5) 確実・安全志向		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	33 19.8%	104 62.3%	30 18.0%	0 .0%	167 100.0%
	勤務医 度数 %	140 18.8%	460 61.7%	134 18.0%	11 1.5%	745 100.0%
	合計 度数 %	173 19.0%	564 61.8%	164 18.0%	11 1.2%	912 100.0%
女	開業 度数 %	14 23.0%	37 60.7%	8 13.1%	2 3.3%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	21 11.4%	115 62.2%	43 23.2%	6 3.2%	185 100.0%
	合計 度数 %	35 14.2%	152 61.8%	51 20.7%	8 3.3%	246 100.0%
6) 他人に責任転嫁		とてもよくあ てはまる	よくあては まる	あまりあては まらない	全くあてはま らない	合計
男	開業 度数 %	0 .0%	14 8.4%	89 53.3%	64 38.3%	167 100.0%
	勤務医 度数 %	5 .7%	49 6.6%	420 56.5%	269 36.2%	743 100.0%
	合計 度数 %	5 .5%	63 6.9%	509 55.9%	333 36.6%	910 100.0%
女	開業 度数 %	0 .0%	5 8.2%	28 45.9%	28 45.9%	61 100.0%
	勤務医 度数 %	0 .0%	10 5.4%	93 50.3%	82 44.3%	185 100.0%
	合計 度数 %	0 .0%	15 6.1%	121 49.2%	110 44.7%	246 100.0%

表11-3 性・勤務形態別にみた、人生における様々な項目の重要度

	性別	全体			開業医			勤務医		
		N	平均	S.D.	N	平均	S.D.	N	平均	S.D.
自分の健康	男	916	1.80	.790	168	1.68	.759	746	1.82	.795
	女	246	1.74	.749	61	1.62	.662	185	1.78	.773
結婚・恋愛	男	916	2.02	.874	168	2.05	.818	746	2.02	.888
	女	245	2.58	1.221	60	2.70	1.212	185	2.54	1.225
自分の仕事	男	916	1.86	.722	168	1.67	.624	746	1.90	.736
	女	246	1.86	.717	61	1.67	.625	185	1.92	.736
自分の性生活	男	915	2.82	.982	168	2.77	.995	745	2.83	.980
	女	245	3.74	1.054	60	3.98	1.112	185	3.66	1.026
自分家庭生活	男	914	1.66	.748	168	1.72	.804	744	1.65	.735
	女	243	1.97	.946	59	1.83	.913	184	2.02	.955
余暇の過ごし方	男	913	2.23	.903	167	2.25	.881	744	2.22	.909
	女	244	2.45	.970	60	2.43	1.155	184	2.46	.904

選択肢：1.極めて重要、2.とても重要、3.ある程度重要、4.少しだけ重要、5.重要ではない

表11-4 満足度の男女比較

	性別	N	平均値	標準偏差	Mann-Whitney の U検定
自分の結婚・恋愛関係	男	914	4.91	1.811	.003
	女	243	4.50	1.919	
余暇の過ごし方	男	914	3.82	1.618	.400
	女	246	3.91	1.582	
生活水準	男	914	4.62	1.515	.000
	女	245	5.15	1.347	
住居	男	914	4.57	1.665	.000
	女	246	4.98	1.541	
仕事	男	914	4.75	1.580	.038
	女	246	5.12	2.386	
健康	男	914	4.47	1.588	.017
	女	246	4.71	1.617	
家庭生活	男	914	4.97	1.537	.187
	女	246	4.86	1.520	
性生活	男	913	4.15	1.446	.310
	女	243	4.26	1.376	
性格	男	914	4.09	1.384	.012
	女	246	4.35	1.422	

選択肢：1.非常に不満、2.不満、3.少し不満、4.どちらでもない、5.少し満足、6.満足、7.非常に満足

表11-5 勤務形態別にみた、男女の満足度得点

	性別	開業医				勤務医			
		N	平均	S.D.	Mann-Whitney の U	N	平均	S.D.	Mann-Whitney の U
結婚・恋愛関係	男	168	4.56	1.898	.818	744	4.99	1.775	.001
	女	59	4.64	1.845		184	4.45	1.944	
余暇の過ごし方	男	168	3.95	1.521	.656	744	3.80	1.639	.552
	女	61	4.05	1.668		185	3.87	1.555	
生活水準	男	168	5.05	1.443	.007	744	4.52	1.516	.000
	女	61	5.49	1.398		184	5.03	1.314	
住居	男	168	4.83	1.627	.100	744	4.51	1.670	.002
	女	61	5.20	1.547		185	4.91	1.537	
仕事	男	168	5.22	1.454	.178	744	4.64	1.589	.205
	女	61	5.97	3.992		185	4.84	1.438	
健康	男	168	4.70	1.581	.973	744	4.42	1.582	.014
	女	61	4.70	1.595		185	4.71	1.629	
家庭生活	男	168	5.02	1.504	.695	744	4.96	1.542	.171
	女	61	4.90	1.700		185	4.84	1.460	
性生活	男	168	4.14	1.504	.704	743	4.16	1.433	.341
	女	58	4.21	1.239		185	4.27	1.419	
性格	男	168	4.09	1.357	.030	744	4.10	1.389	.100
	女	61	4.54	1.324		185	4.28	1.451	

選択肢: 1.非常に不満、2.不満、3.少し不満、4.どちらでもない、5.少し満足、6.満足、7.非常に満足

表12-1 平日の日常生活時間の男女比較

性別	仕事時間				家族との時間				睡眠時間			
	N	平均	S.D.	P	N	平均	S.D.	P	N	平均	S.D.	P
男	903	13.35	11.364	.000	898	3.07	4.506	284	904	7.79	7.055	.001
女	241	9.99	6.678		236	3.49	5.556		244	6.70	3.403	

表12-2 平日の日常生活時間の勤務形態別男女比較

	性別	開業医				勤務医			
		N	平均値	標準偏差	有意確率	N	平均値	標準偏差	有意確率
仕事時間	男	163	11.45	8.949	.371	739	13.77	11.801	.000
	女	59	10.22	9.162		182	9.91	5.676	
家族との時間	男	164	3.43	4.163	.913	732	2.99	4.584	.225
	女	59	3.50	3.685		177	3.49	6.062	
睡眠時間	男	164	7.93	6.858	.009	738	7.77	7.112	.012
	女	60	6.47	.961		184	6.78	3.880	

表12-3 いろいろな事への考え方の男女比較

	性別	N	平均値	標準偏差	有意確率
家庭では自分が決定権を持つ	男	912	4.19	1.192	.024
	女	246	4.41	1.149	
職場では自分が決定権を持つ	男	913	4.09	1.212	.528
	女	246	4.01	1.276	
自分で健康を保てる	男	913	4.13	1.057	.093
	女	246	4.24	1.021	
心筋梗塞予防に自分でできることあり	男	913	4.66	.894	.645
	女	245	4.67	.786	
がん予防に自分でできることあり	男	913	3.51	1.218	.582
	女	246	3.57	1.118	
人生は自分のどうしようもない要因で決まる	男	913	4.12	1.010	.092
	女	246	4.03	.907	
人生の方向性・目的を持つ	男	912	4.24	.983	.105
	女	246	4.33	1.028	
この先、良い事のほうが多く起こると思う	男	911	3.73	1.164	.045
	女	246	3.89	1.101	
自分は不当に扱われていると感じる	男	913	3.13	1.150	.151
	女	246	3.00	1.112	
過去10年、人生には予想もつかない変化があった	男	912	3.93	1.234	.434
	女	245	3.85	1.288	
困難には常に解決方法が見つかる	男	913	4.17	.995	.013
	女	244	4.35	.924	
将来、予想もつかない変化が多く起こると思う	男	913	4.16	.981	.000
	女	246	3.90	1.023	
自分の行いは意味がないと感じる事が多い	男	912	2.54	1.032	.196
	女	245	2.43	.975	
将来、自分が頼れる人が常にいると確信する	男	912	3.50	1.181	.005
	女	245	3.72	1.285	

選択肢: 1.全くそう思わない、2.そう思わない、3.あまりそう思わない、4.少しだけそう思う、5.そう思う、6.全くそう思う

表12-4 いろいろな事への考え方について、勤務形態別の男女比較

	性	開業医				勤務医			
		N	平均値	S.D.	p	N	平均値	S.D.	p
家庭では自分が決定権を持つ	男	168	4.24	1.154	.334	742	4.19	1.197	.051
	女	61	4.43	1.132		185	4.40	1.157	
職場では自分が決定権を持つ	男	168	4.93	1.169	.965	743	3.90	1.138	.034
	女	61	5.05	.865		185	3.67	1.204	
自分で健康を保てる	男	168	4.23	1.026	.524	743	4.11	1.064	.143
	女	61	4.30	1.054		185	4.23	1.012	
心筋梗塞予防に自分でできることあり	男	168	4.65	.942	.664	743	4.66	.885	.408
	女	61	4.77	.693		184	4.63	.813	
がん予防に自分でできることあり	男	168	3.64	1.235	.488	743	3.49	1.211	.996
	女	61	3.79	1.066		185	3.50	1.128	
人生は自分のどうしようもない要因で決まる	男	168	4.01	.970	.896	743	4.15	1.016	.092
	女	61	3.98	.940		185	4.05	.899	
人生の方向性・目的を持つ	男	168	4.41	.911	.019	742	4.20	.996	.769
	女	61	4.69	.923		185	4.22	1.036	
この先、良い事のほうが多く起こると思う	男	168	3.80	1.156	.137	741	3.72	1.165	.149
	女	61	4.02	1.231		185	3.84	1.054	
自分は不当に扱われていると感じる	男	168	2.75	1.109	.575	743	3.22	1.143	.312
	女	61	2.64	1.170		185	3.11	1.070	
過去10年人生には予想もつかない変化があった	男	168	3.99	1.174	.901	742	3.91	1.246	.340
	女	60	3.95	1.395		185	3.82	1.254	
困難には常に解決方法が見つかる	男	168	4.28	.966	.103	743	4.15	1.001	.069
	女	60	4.53	.769		184	4.29	.963	
将来、予想もつかない変化が多く起こると思う	男	168	4.15	1.001	.038	743	4.15	.978	.004
	女	61	3.82	1.133		185	3.92	.986	
自分の行いは意味がないと感じる事が多い	男	168	2.38	1.037	.392	742	2.58	1.028	.482
	女	61	2.21	.915		184	2.51	.986	
将来、自分が頼れる人が常にいると確信する	男	167	3.68	1.189	.257	743	3.46	1.177	.018
	女	61	3.85	1.209		184	3.68	1.310	

選択肢: 1.全くそう思わない、2.そう思わない、3.あまりそう思わない、4.少しだけそう思う、5.そう思う、6.全くそう思う

表12-5 仕事と家庭の関係についての性別比較

		家庭の問題で仕事に専念できる時間が減る					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	213 23.4%	554 60.8%	74 8.1%	70 7.7%	911	100.0%	
女	度数 %	39 15.9%	132 53.7%	45 18.3%	30 12.2%	246	100.0%	
合計	度数 %	252 21.8%	686 59.3%	119 10.3%	100 8.6%	1157	100.0%	
		家庭の問題で仕事から気が逸れる					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	218 23.9%	558 61.3%	63 6.9%	72 7.9%	911	100.0%	
女	度数 %	58 23.6%	138 56.1%	19 7.7%	31 12.6%	246	100.0%	
合計	度数 %	276 23.9%	696 60.2%	82 7.1%	103 8.9%	1157	100.0%	
		家事に必要な睡眠時間が取れない					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	374 41.1%	342 37.5%	49 5.4%	146 16.0%	911	100.0%	
女	度数 %	43 17.5%	120 48.8%	52 21.1%	31 12.6%	246	100.0%	
合計	度数 %	417 36.0%	462 39.9%	101 8.7%	177 15.3%	1157	100.0%	
		家庭内の責任のため、一人の時間が減る					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	199 21.8%	486 53.3%	145 15.9%	81 8.9%	911	100.0%	
女	度数 %	37 15.0%	99 40.2%	79 32.1%	31 12.6%	246	100.0%	
合計	度数 %	236 20.4%	585 50.6%	224 19.4%	112 9.7%	1157	100.0%	
		仕事のため家族と過ごす時間が減る					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	47 5.2%	387 42.5%	449 49.3%	28 3.1%	911	100.0%	
女	度数 %	21 8.5%	129 52.4%	73 29.7%	23 9.3%	246	100.0%	
合計	度数 %	68 5.9%	516 44.6%	522 45.1%	51 4.4%	1157	100.0%	
		職場の問題で、家でイライラする					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	221 24.3%	492 54.1%	135 14.8%	62 6.8%	910	100.0%	
女	度数 %	47 19.1%	136 55.3%	37 15.0%	26 10.6%	246	100.0%	
合計	度数 %	268 23.2%	628 54.3%	172 14.9%	88 7.6%	1156	100.0%	
		出張で家を空けることが多い					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	111 12.2%	539 59.1%	196 21.5%	66 7.2%	912	100.0%	
女	度数 %	53 21.5%	132 53.7%	24 9.8%	37 15.0%	246	100.0%	
合計	度数 %	164 14.2%	671 57.9%	220 19.0%	103 8.9%	1158	100.0%	
		仕事で使い果たし、家では注意力が保てない					合計	
		まったくない	ある程度ある	よくある	該当しない			
男	度数 %	208 22.9%	429 47.2%	199 21.9%	72 7.9%	908	100.0%	
女	度数 %	64 26.1%	114 46.5%	40 16.3%	27 11.0%	245	100.0%	
合計	度数 %	272 23.6%	543 47.1%	239 20.7%	99 8.6%	1153	100.0%	

表12-6 気軽に話せる人の数

		いない	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	合計
男	度数 %	41 4.5%	339 37.2%	381 41.8%	98 10.8%	52 5.7%	911 100.0%
女	度数 %	15 6.1%	68 27.8%	122 49.8%	30 12.2%	10 4.1%	245 100.0%
合計	度数 %	56 4.8%	407 35.2%	503 43.5%	128 11.1%	62 5.4%	1156 100.0%

表12-7 誰かの腕に抱かれて慰められたいと思う

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	ない	合計
男	度数	27	145	179	558	909
	%	3.0%	16.0%	19.7%	61.4%	100.0%
女	度数	15	46	77	106	244
	%	6.1%	18.9%	31.6%	43.4%	100.0%
合計	度数	42	191	256	664	1153
	%	3.6%	16.6%	22.2%	57.6%	100.0%

表12-8 親戚との訪問

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	親戚なし	合計
男	度数	24	98	182	328	277	1	910
	%	2.6%	10.8%	20.0%	36.0%	30.4%	.1%	100.0%
女	度数	20	55	60	56	54	0	245
	%	8.2%	22.4%	24.5%	22.9%	22.0%	.0%	100.0%
合計	度数	44	153	242	384	331	1	1155
	%	3.8%	13.2%	21.0%	33.2%	28.7%	.1%	100.0%

表12-9 1ヶ月に1回以上会う親戚の人数

		いない	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	合計
男	度数	211	189	88	10	4	502
	%	42.0%	37.6%	17.5%	2.0%	.8%	100.0%
女	度数	44	64	43	4	1	156
	%	28.2%	41.0%	27.6%	2.6%	.6%	100.0%
合計	度数	255	253	131	14	5	658
	%	38.8%	38.4%	19.9%	2.1%	.8%	100.0%

表12-10 職場の人との仕事以外の付き合い

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	9	129	271	254	234	897
	%	1.0%	14.4%	30.2%	28.3%	26.1%	100.0%
女	度数	4	23	62	61	85	236
	%	1.7%	9.7%	26.3%	25.8%	36.0%	100.0%
合計	度数	13	152	333	315	319	1133
	%	1.1%	13.4%	29.4%	27.8%	28.2%	100.0%

表12-11 友人との付き合い

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	3	33	112	291	471	910
	%	.3%	3.6%	12.3%	32.0%	51.8%	100.0%
女	度数	3	22	64	89	66	244
	%	1.2%	9.0%	26.2%	36.5%	27.0%	100.0%
合計	度数	6	55	176	380	537	1154
	%	.5%	4.8%	15.3%	32.9%	46.5%	100.0%

表12-12 1ヶ月に1回以上会う友人の数

		いない	1~2人	3~5人	6~9人	10人以上	合計
男	度数	396	322	129	35	27	909
	%	43.6%	35.4%	14.2%	3.9%	3.0%	100.0%
女	度数	89	90	46	13	7	245
	%	36.3%	36.7%	18.8%	5.3%	2.9%	100.0%
合計	度数	485	412	175	48	34	1154
	%	42.0%	35.7%	15.2%	4.2%	2.9%	100.0%

表12-13 電話や手紙のみの友人との連絡頻度

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	21	95	178	382	234	910
	%	2.3%	10.4%	19.6%	42.0%	25.7%	100.0%
女	度数	9	41	71	105	16	242
	%	3.7%	16.9%	29.3%	43.4%	6.6%	100.0%
合計	度数	30	136	249	487	250	1152
	%	2.6%	11.8%	21.6%	42.3%	21.7%	100.0%

表12-14 宗教行事への参加

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	5	11	13	70	812	911
	%	.5%	1.2%	1.4%	7.7%	89.1%	100.0%
女	度数	0	2	8	21	214	245
	%	.0%	.8%	3.3%	8.6%	87.3%	100.0%
合計	度数	5	13	21	91	1026	1156
	%	.4%	1.1%	1.8%	7.9%	88.8%	100.0%

表12-15 ボランティア活動への参加

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	1	5	15	35	854	910
	%	.1%	.5%	1.6%	3.8%	93.8%	100.0%
女	度数	0	1	8	26	210	245
	%	.0%	.4%	3.3%	10.6%	85.7%	100.0%
合計	度数	1	6	23	61	1064	1155
	%	.1%	.5%	2.0%	5.3%	92.1%	100.0%

表12-16 クラブや組織活動への参加

		ほとんど毎日	週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない・ない	合計
男	度数	10	106	73	61	14	264
	%	3.8%	40.2%	27.7%	23.1%	5.3%	100.0%
女	度数	1	38	27	15	9	90
	%	1.1%	42.2%	30.0%	16.7%	10.0%	100.0%
合計	度数	11	144	100	76	23	354
	%	3.1%	40.7%	28.2%	21.5%	6.5%	100.0%

表12-17 自宅でのパーティーの開催

		週に1回程度	月に1回程度	数ヶ月に1回程度	ほとんどない	
男	度数	6	24	153	726	909
	%	.7%	2.6%	16.8%	79.9%	100.0%
女	度数	1	5	61	178	245
	%	.4%	2.0%	24.9%	72.7%	100.0%
合計	度数	7	29	214	904	1154
	%	.6%	2.5%	18.5%	78.3%	100.0%

表12-18 抑うつ的な状態に関する設問について

1) 自分の行っている事は意味がないと感じる

		よく感じる	時々感じる	まれに感じる	ほとんど感じない	合計
男	度数	17	163	287	444	911
	%	1.9%	17.9%	31.5%	48.7%	100.0%
女	度数	3	45	61	136	245
	%	1.2%	18.4%	24.9%	55.5%	100.0%
合計	度数	20	208	348	580	1156
	%	1.7%	18.0%	30.1%	50.2%	100.0%

2) 人生の重大場でうまくやれる気になる

		よく感じる	時々感じる	まれに感じる	ほとんど感じない	合計
男	度数	206	461	192	53	912
	%	22.6%	50.5%	21.1%	5.8%	100.0%
女	度数	61	113	56	15	245
	%	24.9%	46.1%	22.9%	6.1%	100.0%
合計	度数	267	574	248	68	1157
	%	23.1%	49.6%	21.4%	5.9%	100.0%

3) 生きていく明確な展望がないと感じる

		よく感じる	時々感じる	まれに感じる	ほとんど感じない	合計
男	度数	46	240	278	348	912
	%	5.0%	26.3%	30.5%	38.2%	100.0%
女	度数	13	61	58	113	245
	%	5.3%	24.9%	23.7%	46.1%	100.0%
合計	度数	59	301	336	461	1157
	%	5.1%	26.0%	29.0%	39.8%	100.0%

表12-19 抑うつ傾向指数の性・勤務形態別比較

性別	全体			開業医			勤務医		
	N	平均	標準偏差	N	平均	標準偏差	N	平均値	標準偏差
男	911	2.41	0.323	167	2.39	0.359	742	2.41	0.315
女	244	2.34	0.310	59	2.26	0.315	185	2.37	0.306
		P<0.01			P<0.05			Ns	

表13 性・年齢階級別の最近の健康診断結果

検定は男性は46歳以上で1カテゴリ、女性は56歳以上で1カテゴリとして実施

		男性				女性			
		度数	平均値	標準偏差	p	度数	平均値	標準偏差	p
身長	30～35歳	51	170.8	6.23		24	156.1	4.34	***
	36～40歳	169	170.8	5.08		47	159.3	5.25	
	41～45歳	269	171.2	5.47		43	159.6	5.82	
	46～50歳	283	170.8	5.02		24	156.4	4.02	
	51～55歳	2	172.8	1.13		39	156.6	4.58	
	56～60歳					9	154.9	5.57	
	61歳以上					18	153.8	4.38	
	合計	774	170.9	5.26		204	157.5	5.26	
体重	30～35歳	51	69.5	9.41		24	49.2	3.89	**
	36～40歳	169	68.5	8.30		47	51.8	5.47	
	41～45歳	269	69.6	9.22		42	53.1	8.11	
	46～50歳	283	70.4	8.50		24	54.0	7.81	
	51～55歳	2	74.5	3.53		39	55.5	7.35	
	56～60歳					9	50.1	6.43	
	61歳以上					18	52.1	6.32	
	合計	774	69.7	8.7		203	52.7	6.91	
BMI	30～35歳	51	23.8	2.76		24	20.1	1.23	***
	36～40歳	169	23.4	2.40		47	20.4	2.24	
	41～45歳	269	23.7	2.72		42	20.7	2.61	
	46～50歳	283	24.1	2.63		24	22.0	2.74	
	51～55歳	2	24.9	1.48		39	22.6	3.01	
	56～60歳					9	20.8	2.39	
	61歳以上					18	22.0	2.52	
	合計	774	23.8	2.62		203	21.2	2.62	
収縮期血圧	30～35歳	42	119.1	11.36	***	21	105.8	12.87	***
	36～40歳	153	121.5	10.72		42	107.8	10.84	
	41～45歳	241	122.6	11.92		40	110.9	13.41	
	46～50歳	260	125.3	10.91		19	113.5	13.00	
	51～55歳	2	124.0	8.48		35	119.5	12.35	
	56～60歳					8	118.6	9.54	
	61歳以上					16	120.3	14.74	
	合計	698	123.1	11.37		181	112.7	13.38	
拡張期血圧	30～35歳	42	73.0	7.75	***	21	65.1	8.80	***
	36～40歳	152	74.2	8.58		41	67.6	8.75	
	41～45歳	241	76.0	8.62		40	69.4	9.40	
	46～50歳	259	78.1	7.94		19	70.0	9.30	
	51～55歳	2	72.5	3.53		35	74.0	9.40	
	56～60歳					8	77.0	3.89	
	61歳以上					16	73.3	8.70	
	合計	696	76.2	8.45		180	70.1	9.38	

表13 性・年齢階級別の最近の健康診断結果(続き)

検定は男性は46歳以上で1カテゴリ、女性は56歳以上で1カテゴリとして実施

		男性				女性			
		度数	平均値	標準偏差	p	度数	平均値	標準偏差	p
白血球数	30～35歳	33	5660.3	1156.0		15	5876.6	1313.8	
	36～40歳	112	5763.8	1398.1		33	5319.3	1514.3	
	41～45歳	187	5720.6	1292.6		30	5332.0	1177.6	
	46～50歳	204	5819.8	1323.3		18	5581.1	1591.9	
	51～55歳	2	7250.0	1060.6		34	5204.1	1352.7	
	56～60歳					7	4842.8	1330.2	
	61歳以上					12	5897.5	1281.3	
	合計	538	5769.2	1318.0		149	5407.5	1377.1	
赤血球数	30～35歳	28	483.2	48.70		13	425.5	39.99	
	36～40歳	100	480.8	40.00		30	412.7	31.04	
	41～45歳	174	477.0	35.95		29	424.9	32.84	
	46～50歳	199	474.9	40.23		18	428.1	34.13	
	51～55歳	2	475.0	35.35		34	422.5	28.88	
	56～60歳					6	417.3	27.62	
	61歳以上					12	398.3	51.33	
	合計	503	477.2	39.19		142	419.6	34.44	
血色素	30～35歳	34	14.92	1.090		16	12.46	1.528	
	36～40歳	110	14.97	1.003		33	12.66	1.051	
	41～45歳	189	14.91	.972		35	12.75	1.470	
	46～50歳	210	14.85	1.104		18	13.17	1.179	
	51～55歳	2	15.40	.141		35	12.90	1.024	
	56～60歳					7	13.57	.709	
	61歳以上					12	12.81	1.289	
	合計	545	14.90	1.035		156	12.83	1.228	
ヘマトクリット	30～35歳	28	43.79	3.1056		11	37.49	4.775	
	36～40歳	97	44.79	3.2841		29	38.41	3.179	
	41～45歳	168	44.66	3.2597		28	38.99	2.947	
	46～50歳	183	44.36	3.5005		17	40.31	2.829	
	51～55歳	2	42.00	1.4142		33	39.66	4.618	
	56～60歳					6	39.56	2.265	
	61歳以上					13	40.40	4.609	
	合計	478	44.51	3.347		137	39.23	3.773	
尿酸	30～35歳	25	6.27	1.301		5	4.28	.791	
	36～40歳	82	5.92	1.264		26	4.60	1.009	
	41～45歳	145	6.05	1.184		26	4.51	1.075	
	46～50歳	176	6.25	1.180		16	4.82	.734	
	51～55歳	2	6.75	1.060		26	4.86	2.307	
	56～60歳					3	5.06	.757	
	61歳以上					11	5.56	2.286	
	合計	430	6.12	1.207		113	4.76	1.531	
総コレステロール	30～35歳	34	192.1	33.68	*	15	169.6	29.61	***
	36～40歳	111	196.4	28.45		34	186.1	29.58	
	41～45歳	194	199.5	32.70		34	189.1	29.41	
	46～50歳	222	205.1	29.76		18	203.3	27.60	
	51～55歳	2	224.0	29.69		36	210.5	33.20	
	56～60歳					7	216.4	31.31	
	61歳以上					14	215.5	33.21	
	合計	563	200.8	30.99		158	196.7	33.25	

表13 性・年齢階級別の最近の健康診断結果(続き)

検定は男性は46歳以上で1カテゴリ、女性は56歳以上で1カテゴリとして実施

		男性				女性			
		度数	平均値	標準偏差	p	度数	平均値	標準偏差	p
HDLコレステロール	30～35歳	26	54.5	12.69		14	62.5	19.13	
	36～40歳	91	55.9	11.93		30	71.8	15.76	
	41～45歳	173	56.4	11.66		32	67.9	13.91	
	46～50歳	194	56.2	13.78		15	72.5	13.04	
	51～55歳	2	58.0	8.48		33	69.0	12.01	
	56～60歳					6	65.8	15.48	
	61歳以上					13	64.0	10.25	
	合計	486	56.1	12.60		143	68.5	14.24	
中性脂肪	30～35歳	30	118.9	59.26		15	79.8	42.03	*
	36～40歳	103	133.8	86.32		33	75.3	34.78	
	41～45歳	186	132.8	78.27		33	79.3	32.86	
	46～50歳	210	147.1	71.63		18	88.4	41.74	
	51～55歳	2	104.5	106.77		36	100.1	42.34	
	56～60歳					6	108.8	61.16	
	61歳以上					14	102.2	31.03	
	合計	531	137.8	76.68		155	87.6	39.57	
GOT	30～35歳	32	25.97	13.374	*	17	18.24	5.403	
	36～40歳	108	23.50	9.965		33	17.85	4.331	
	41～45歳	188	24.16	8.191		32	18.78	5.053	
	46～50歳	213	26.76	12.305		18	19.22	4.008	
	51～55歳	2	27.00	7.071		36	20.44	5.369	
	56～60歳					7	19.71	6.473	
	61歳以上					13	19.65	6.303	
	合計	543	25.17	10.688		156	19.07	5.085	
GPT	30～35歳	32	31.34	19.883		17	14.59	5.112	
	36～40歳	108	25.84	14.003		33	14.85	5.826	
	41～45歳	190	27.11	14.939		32	17.38	7.365	
	46～50歳	212	30.78	21.800		18	16.72	5.571	
	51～55歳	2	23.50	4.950		36	19.08	8.241	
	56～60歳					7	16.57	8.324	
	61歳以上					13	19.38	10.989	
	合計	544	28.52	18.118		156	16.99	7.381	
γGTP	30～35歳	31	46.48	56.186		15	17.60	14.725	
	36～40歳	100	40.70	42.011		33	21.03	14.986	
	41～45歳	173	48.39	45.243		31	28.10	39.957	
	46～50歳	197	54.35	41.809		18	22.00	9.665	
	51～55歳	2	26.00	5.657		36	33.69	36.301	
	56～60歳					5	10.40	3.507	
	61歳以上					13	26.92	17.471	
	合計	503	48.99	44.138		151	25.43	27.707	
尿素窒素	30～35歳	25	13.84	3.239	*	9	17.06	4.447	
	36～40歳	75	14.61	3.233		22	12.66	3.768	
	41～45歳	139	14.95	3.724		24	16.88	17.967	
	46～50歳	164	16.06	5.566		16	14.01	1.903	
	51～55歳	2	15.50	.707		27	18.47	22.461	
	56～60歳					4	16.25	2.986	
	61歳以上					8	17.85	6.730	
	合計	405	15.27	4.503		110	16.07	14.183	

表13 性・年齢階級別の最近の健康診断結果(続き)

検定は男性は46歳以上で1カテゴリ、女性は56歳以上で1カテゴリとして実施

		男性				女性			
		度数	平均値	標準偏差	p	度数	平均値	標準偏差	p
クレアチニン	30～35歳	25	.83	.157	*	12	.71	.185	
	36～40歳	86	.82	.150		25	.67	.194	
	41～45歳	159	.85	.166		27	.71	.121	
	46～50歳	185	.97	.763		16	.78	.154	
	51～55歳	2	.90	.000		33	.75	.253	
	56～60歳					4	.72	.125	
	61歳以上					10	.82	.161	
	合計	457	.89	.504		127	.73	.191	
LDLコレステロール	30～35歳	26	113.0	30.2		13	88.0	26.4	***
	36～40歳	89	112.3	26.3		30	95.9	26.2	
	41～45歳	169	115.7	32.8		31	104.0	29.2	
	46～50歳	190	120.7	29.6		15	115.9	25.0	
	51～55歳	2	145.1	16.8		33	123.5	32.9	
	56～60歳					6	133.4	27.7	
	61歳以上					13	132.6	34.7	
	合計	476	117.1	30.3		141	110.5	32.2	

*: p<0.05 **: p<0.01 ***: p<0.001

表14 性・勤務形態別にみた性差を考慮した医療についての回答状況

性差医療を聞いたことある			男	女	合計
開業医	はい	度数	105	37	142
		%	63.6%	64.9%	64.0%
勤務医	はい	度数	481	134	615
		%	65.8%	75.3%	67.7%
合計		度数	586	171	757
		%	65.4%	72.8%	66.9%
同じ疾患でも男女差あると思う			男	女	合計
開業	はい	度数	162	55	217
		%	97.6%	98.2%	97.7%
勤務	はい	度数	716	172	888
		%	97.8%	96.6%	97.6%
合計		度数	878	227	1107
		%	97.8%	97.0%	97.6%
医学では女性に関するエビデンスが少ない			男	女	合計
開業医	はい	度数	108	48	156
		%	65.1%	88.9%	70.9%
勤務医	はい	度数	512	149	661
		%	70.0%	84.2%	72.8%
合計		度数	620	197	817
		%	69.1%	85.3%	72.4%
性差に基づく臨床研究に興味がある			男	女	合計
開業医	はい	度数	123	51	174
		%	74.1%	91.1%	78.4%
勤務医	はい	度数	547	152	699
		%	74.6%	85.9%	76.8%
合計		度数	670	203	873
		%	74.5%	87.1%	77.1%
専門の疾患に関する性差に十分な知識がある			男	女	合計
開業医	はい	度数	60	16	76
		%	36.1%	28.1%	34.1%
勤務医	はい	度数	266	59	325
		%	36.2%	33.3%	35.1%
合計		度数	326	75	401
		%	36.2%	32.1%	35.4%
診断・治療に性差を考慮している			男	女	合計
開業医	はい	度数	134	45	179
		%	80.7%	78.9%	80.3%
勤務医	はい	度数	553	146	699
		%	75.4%	81.6%	76.6%
合計		度数	687	191	878
		%	76.4%	80.9%	77.4%

女性外来利用者を中心とした市民による性差医療の啓発・普及を目指して

－ 女性外来・性差医療を育てる会（いちごの会）の設立 －

主任研究者 天野 恵子 （千葉県衛生研究所 所長）

研究協力者 柳堀 朗子 （千葉県衛生研究所 特別研究員）

研究要旨：女性専用外来は受診者の満足度が高いことが報告されているが、周知度の低さや性差医療の考え方への市民の理解不足から、必ずしも必要とする人たちが利用できていない。女性外来の普及を図るには、受診者が声を上げていくことが有効であるが、受診者が特定の疾患に限定されない場合は、受診者の横のつながりを作りにくい。また、受診者の特性から、受診者相互のコミュニケーションを図ることは、ピア・カウンセリングにもなり、受診者に良い効果をもたらすことが期待されるが、心身の不調を抱えている受診者が率先して会を設立することは難しい。そこで、医師が発起人となり、受診者・元受診者を中心とした「市民団体」の設立を試みた。その過程を通し、発起人に会員資格がなく、また会の設立を熱望する人材に不足するような場合における、市民団体設立のための仕掛けや課題等を検討した。その結果、設立準備会賛同者が設立時の会員になる上では、設立の意図を汲んだ事務局の存在、数回の設立準備会を通じたコアメンバーの獲得、会報による連絡が有効であったと考えられた。しかし、設立のための資金準備の不足、会のPRや連絡においてIT活用ができなかったことは課題として残った。

A. 研究目的

千葉県では、2001年9月に県立東金病院に女性専用外来が開設されたのを皮切りに、行政の後押しもあり、県立病院、県内の大学病院等を中心に女性専用外来の設置が急速に進んだ。初診時の女性医師による傾聴は受診者に好評であり、日頃の3分診療では得られない満足感を得ていることが県立東金病院利用者の感想の中でも報告されている¹⁾。現在でも女性専用外来の予約状況はほぼ一杯であり、一部には数ヶ月待ちの

状況もある。

このように千葉県内の女性専用外来の普及は医療者に女性医療、性差医療の必要性を認識させると共に、利用者である市民にもその理念や意義が浸透する必要があるが、女性専用外来の周知率は全体では約3割と²⁾高いとは言えず、必要とする人たちが受診できていないことが考えられる。

また、女性専用外来の利用者の受診理由の第3位に心の問題が上がっていること、受けた治療の第一位はカウンセリングで

あること¹⁾、「薬も出さず、注射もせずに、30分ほど話を聞くだけで、相談に見えた女性は、にっこりと満足して帰られる。自分はいままで何をやっていたのかと考えさせられました」という医師の言葉³⁾にもみられるように、話を聞いてもらう、思う存分に話が出来るといことが利用者に女性外来が女性たちの支持を得ている背景にあると考えられる。

更に、待合室での利用者同士の会話がピア・カウンセリングとして機能し、利用者から「利用者同士の横のつながり」を求め声が出ていること、実際に診療後に患者仲間で誘い合わせて「おしゃべり」を楽しんでいる利用者もいることが、担当する医師により明らかにされた。

女性外来の普及を図るには、受診者が声を上げていくことが有効であるが、受診者が特定の疾患に限定されない場合は、受診者の横のつながりを作りにくい。また、受診者相互のコミュニケーションが、受診者の心身に良い効果をもたらすことが期待されるが、心身の不調を抱えている受診者が率先して会を設立することは難しい。そこで、医師が発起人となり、(1)性差医療の考え方を市民にも普及することにより、上手な医療の利用者を育成していくこと、(2)女性外来の利用者同士がお互いの闘病経験を話すことにより、心の負担を軽くし、利用者のエンパワーメントを図ることを目的に、受診者・元受診者を中心とする「市民団体」の設立を試みた。その過程を通し、

発起人に会員資格がなく、また会の設立を熱望する人材に不足するような場合における、市民団体設立のための仕掛けや課題等を検討した。

B. 方法

1. 設立までの手続き

正式な会を設立するにあたり、1)世話人・発起人による設立準備会の発足の呼びかけ、2)設立準備会の発足、3)会員募集、4)設立準備会の定期的開催、5)会を運営する会員の選出、6)会の発足、という手続きをとった。

2. 費用の捻出

設立までの会の運営に関する事務費用については、性差医療情報ネットワーク (NAHW)が平成17年11月に開催する「性差医療シンポジウム」の企画・運営を、準備会が担うことにより賄った。

3. 設立準備会の運営

設立準備会は、第1回の話合いにより毎月1回開催することになった。会の議事録、話合いの内容を記した News を事務局が発行し、参加者に郵送またはファックスで配信した。

4. 正式な会への参加確認

正式に発足する会への参加確認は、準備会参加者への葉書による意思確認により行った。

C. 結果

1. 世話人・発起人による設立準備会の発

足の呼びかけ

平成 17 年 1 月に、千葉県東金病院副院長であり、女性外来を担当している天野医師が、同院の女性外来担当医師の合意の下、「女性外来を守る県民の会」の発足を提案した。

提案された内容で、氏が担当する女性外来患者に「入会の呼びかけ」を開始したが、医師主導の会ではなく、参加者が主体的に運営する会にしていくには、設立準備会を作り、会員の意識を高める必要があると考えられた。そこで、性差医療情報ネットワーク (NAHW) 千葉支部の会員に「女性外来利用者を中心とする市民団体」の発起人への協力を呼びかけた。

6 名が発起人となることを同意し、発起人うち女性外来担当医ではない柳堀が市民サイドの代表 (女性外来患者) という立場で、事務局担当を担うことになった。

2. 設立準備会の発足

会の名称 (仮称) を「女性外来 (性差医療) を育てる会」とし、『「女性外来 (性差医療) を育てる会」設立にむけて』という主意書を、代表世話人、発起人の名前も明記した上で、事務局名で作成した。設立準備会は「会を正式に発足させるため、関心の高い人たちが集まり、会の内容を考えていく会」と位置づけた。

会の主旨に賛同する人たちは、それぞれの面識がまったくないということを考慮し、第 1 回の設立準備会は、平成 17 年 3 月 6 日に NAHW 千葉支部が主催する講演会の

後に行うこととし、「講演会を聞きに行く」ということで、設立準備会への参加を促すようにした。

3. 会員募集

会員の募集は、東金病院女性外来利用者へのダイレクトメールの発送、女性外来担当医師からの紹介、NAHW 会員への会員募集への協力呼びかけを中心に行った。

東金病院女性外来利用者約 800 名に会の主意書、第 1 回設立準備会の案内、講演会の案内、参加申込書を郵送した。また、同じものを、女性外来担当医師から外来患者に配布するようにした。

その結果、3 月 5 日時点では 35 名から申込みがあり、その後も参加申し込みは随時受け付けるようにした結果、10 月末の設立総会までには準備会への参加者 (賛同者) は 95 名となった。

4. 設立準備会の定期的開催

a. 第 1 回設立準備会 (資料 1)

H17 年 3 月 6 日 14:40~15:30

「NAHW 千葉支部講演会」の後に同じ会場で引き続いて開催した。15 名が出席し、会の正式発足に向けてどのように取り組むかを話し合った。会の開催は、次回まで期間が開いてしまうと意欲が低下することから、翌月に集まることとなった。会場を借りると費用がかかることから、千葉駅に近いファミリーレストランとし、事務局が会場確保の手続きを取ることになった。

b. 第 2 回設立準備会 (資料 2)

H17年4月15日 13:00～15:00 14名

会の目的等を確認した後、どんな会にしたいか、会の呼称、今後の活動について話し合った。年内に会を正式発足させることで出席者の合意を得た。会の呼称は「いちごの会」とすることになり、今後の活動は1ヶ月に1回、第1日曜日13時30分から会合を持つことになった。会場は、千葉市在住の会員が公民館などの公共施設で利用できる場所を探すことになった。

c. 第3回設立準備会（資料3）

H17年5月15日 13:30～15:30 10名

会の発足日と付帯行事についての報告、会則案についての検討、定例会での活動内容の検討を行った。また、会に参加した人のプライバシー保護のために、「他の参加者の氏名等は他人には口外しない」という取り決めを行った。参加者から性差医療に関する新聞記事、雑誌記事の紹介があった。

d. 第4回設立準備会（資料4）

H17年6月4日 13:30～15:30 12名

会の活動として行いたいこと、設立総会についての意見交換を行った。また、会員同士のフリートーキングでは、会員から「夫や家族に病状を理解してもらえない」という悩みや「こんな症状で辛い」「こんな闘病生活をしている」という声が出された。

e. 第5回設立準備会（資料5）

H17年7月3日 13:30～15:30 9名

悩みや疑問、自分にとっての本会の意義などを自由に意見交換した。「会への出席が楽しみ」「更年期障害を乗り越えた方からの話は参考になる」「自分が開放される」等の意見が出され、会が継続することへの期待が示された。また、会員から「このような場合にどうしたらよいか」という相談が出されたので、参加者の意見徴収と共に事務局で女性外来担当医の意見を聞くことにした。

f. 第6回設立準備会（資料6）

H17年8月7日 13:30～15:30 5名

暑さもあり出席者が少なかったが、設立総会・シンポジウムについての報告の後、フリートーキングを実施した。色々な意見交換の中では、「笑う場面」も多く、和気藹々とした中で散会となった。

g. 第7回設立準備会（資料7）

H17年9月4日 13:30～15:30 6名

会則について再検討し、会員・会費・運営委員会・事務局の項について修正をすることになった。また、役員の人選を行い、代表、副代表、監査を決定した。会発足後の行事であるが、会場として借用している公民館より、文化祭への協力要請があったことが報告され、運営委員2名が協力することになった。

h. 第8回設立準備会（資料8）

H17年10月2日 13:30～15:30 11名

総会前の最後の集まりであり、今後の活動内容や委員について話し合った。また、事務局が準備会参加者に対し、正式

に発足する会への参加についての意思確認を行うことが報告された。

i. 設立総会

H17年10月29日 13:00~13:45 14名

設立総会を千葉市ハーモニープラザ創作室にて行った。設立準備会の代表世話人であった天野氏からの挨拶、事務局からの設立までの経緯説明、会則(資料9)の承認、役員承認の後、代表を議長として活動計画・予算等についての審議を行った。

天野氏からは「患者さんを中心とした会ではあるが、おしゃべり会だけではなく、年に1回は多くの人に集まってもらうような企画をして欲しい。企画実現に向けた支援は惜しまない。」という挨拶があった。

設立時の会員数は30名であることが事務局から報告された。

審議事項では、NTTデータからのインタビュー申込については、活発な意見交換があり、11月6日の第1回例会でインタビューの目的等を再確認することになった。

D. 考察

約半年の準備期間を経て、本研究の目的であった「市民団体の設立」は達成することができた。団体設立に当たり、①発起人が会員になる立場ではない、②患者・元患者が会員の中心ではあるが、疾患が必ずしも同じではない、という特殊な事情があっ

ても、目的どおりに設立することができた要因を考えてみたい。

1つは代表世話人の医師の熱意とその意図を汲んだ事務局の存在である。代表世話人、多くの発起人は医師であり、会員になる立場ではなかったが、世話人の一人が中高年女性の健康問題を研究課題とする非医療関係者であり、代表世話人の意図を汲んで事務局を担うことが出来た。事務局担当者と設立準備会の賛同者とは10歳以上の年齢差があっても、事務局担当者が研究等を通して中高年女性との関わりが深かったため、賛同者の心身の状況も理解でき、コミュニケーションを十分にとることが出来たと考えられる。また、代表世話人である医師の「会の設立」への熱意と協力も、事務局の活動を支えとなった。

2つめに、設立時期を設定し、それに向けた設立準備会の開催とコアメンバーの獲得である。年内に設立することを目標に据えた結果、賛同者から月1回の会合を持つことが提案され、8ヶ月に渡り設立準備会を開催した。それを通して、当初は漠然としていた「会の理念や目的」が明確になり、「これなら自分も積極的に関わっても良い」という賛同者が、定期的に設立準備会に参加するようになった。設立準備会に2回以上出席した人に運営委員を委嘱したが、委嘱した13名の内、過半数は5回以上の出席者であり、コアメンバーとして今後も会の運営に積極的に関わっていくことが期待できる。コアメンバーを獲得は会を運営上、

不可欠であり、年内設立を第一目標とし、8ヶ月間の準備期間を経た意義は大きいと考える。

第3に会報（News）による連絡である。設立準備会に出席できない者においては、何も連絡がなければ興味も失われてしまう。会報には、進捗状況の報告だけではなく、会の中の雑談から拾い上げた話題なども掲載したため、設立準備会の雰囲気等も多少は伝えられたと考える。実際、賛同者から、「会報を読んで励みになった」「楽しみにしている」という手紙が事務局には寄せられた。会報は、設立準備会に出席しなかった者においては、今後の会の活動を推察する一手段であり、会員として継続参加するという判断の材料になったと考えられる。

このような有効な点があった一方、設立過程で以下のような課題が明らかになった。

1. 設立賛同者の会員への歩留り

多くの市民団体は、同じ目的に賛同した者が中心となり会の設立を発案し、意見交換を重ねて会を設立していく経緯を辿る。したがって、設立準備会に名を連ねた者は、そのまま正式に会が発足した時の会員となるのが通常である。しかし、本会の場合、8回行った設立準備会に1回以上参加した者は20名弱、設立に賛同した者の中で正式発足時の会員になった者は半数以下であった。準備会への出席率が低かったのは、会の趣旨に賛同するが自分は積極的には関われないという者が多かった結果と思われる。本

会は女性外来担当医師の発案に基き、患者と元患者を中心に医師を通して賛同者の募集が行われたため、賛同者の大半が女性外来に通院中であり、体調が良い時ばかりとは限らない。また、準備会を開催した場所は千葉市内であるが、賛同者の中には遠方の者も多かった。したがって、「出かけようと思っても、体調や遠距離で容易には出かけられない」ということも、設立準備会への出席が低かった一因と考えられる。

会の正式発足時に会員となった者が半数以下であったことについては、会費を徴収するという段階になった時に、「受診時に、会の設立を医師から聞き、良いことだと思ったから参加したが、実際には自分は会の活動にも参加できないから必要ない」「予想していたような活動を行う会ではなかった」「体調等が不良であり、会への参加について返事をするのも面倒」等の理由が考えられた。いずれにせよ、参加者の多くが「更年期障害等で不定愁訴を持つ患者」という本会の賛同者の特性から、会の運営に積極的に関わる意欲があり、体調も比較的良い者となると少数になってしまったものと考えられる。

2. コアメンバーの活動力

設立準備会を毎月1回開催する中で、出席者は次第に固定化された。会を運営するための運営委員には、準備会に2回以上出席した13人に就任を依頼した。各人が運営委員の就任を快諾してくれたが、「病気もあるので、負担が大きいと困る」という意見